

第1回 将来ビジョン検討会議 意見交換会概要

(司会)

- ・北畑先生、南保先生両名のスピーチの論点、キーワードをまとめると、
 - (1) 経済の成長には、生産性の向上が重要である。
 - (2) 財政に依存しない消費が必要で、そのためには外需が重要である。
 - (3) 日本の強みとして裾野産業の多さ、層の厚さがある。
 - (4) アジア域内で中間財を媒体として共存共栄の関係が成り立ち始めている。
 - (5) 日本の産業の戦略として価格競争力や品質を超えた、高度信頼性産業に活路があるのではないか。
 - (6) 中国の大発展は、日本の技術産業にも波及するのではないか。
 - (7) 中国が豊かになる中で日本のマーケットも大きくなる。
 - (8) 県内企業の中国でのビジネスは、まだまだ難しい面があるが、発展を見据えた対策を講じなければならない。となる。

(出席者)

- ・中国マーケットは問題山積であるが、さらに拡大するものと考えている。
その問題とは、まず、10～15年後、中国も高齢化を向えるということ。人口政策を大きく見直す議論が中国国内で活発だが、見直したとしても高齢化の趨勢をどこまで食い止められるか分からない。
- ・次に人民元レートの問題である。産業構造を高度化するには、人民元を切り上げる必要があるが、中国経済は外需に依存しているため、経済成長率が大きくダウンする政治リスクが伴い、断行できないだろう。
- ・他に、資源供給や環境の問題、中国経済がバブル化しているのではないかという懸念などがある。
- ・ここで、データとともにお示ししたいのが、中国の内需の規模は、実は非常に小さいということである。中国の2007年の消費率48.8%のうち、家計消費が70%、その25%が農村部での消費である。農村部の人口が全人口の54%を占めており、つまり、中国の半分以上の人口で全体の1/4の消費に留まっている。いかに中国の農村部は眠ったままの市場であるかが分かるが、まだまだ奥行きを感じさせ、農村部の消費を喚起し、高成長を維持できるかどうかは、今後

(出席者)

- ・中国で計10年程勤務したが、香港、広州を中心とする華南は、東南アジア（タ

イ、マレーシア)を意識している。上海を中心とする華東は、欧米志向が強く、日本への関心が薄いように感じる。東北の中でも日本人が高い関心を示しているのが大連で、東北の人も日本人に対して理解があると思う。ビジネスについて言えば、やはり、華東(上海)が魅力的ではないかと考える。

(出席者)

- ・繊維業を営んでいるが、日本の繊維は、中国を市場として見た場合、可能性があるが、製造拠点としては難しいことを実感している。何よりも製造拠点を移すことで、地域の雇用が生まれないことが問題である。また、県内企業が保有する技術を活かすインフラがあるのか検証しなければならない。

(司会)

- ・製造拠点を移すことについて、いかがでしょうか。

(出席者)

- ・現在、県と協力し、県内企業の貿易に関するアンケートを実施しているところだが、生産拠点としては中国からベトナムに興味が移っている。中国は販売先として見ているようである。

(出席者)

- ・中国は今後も発展するであろう。しかし、懐疑的な思いもある。それは、中国のエネルギー効率の悪さ、家計消費の減少などからである。
欧米の景気が悪く、中国の景気が良い現状においては、コスト競争を強いられ、コスト競争から離れた要素技術、ソリューションビジネス、環境ビジネスに県内企業の活路が見出されるだろう。この場合も最終製品でなく、技術の集積を売り込んでいくべきであろう。

(出席者)

- ・中国との直接航路を開設して欲しい。また、環境効率の良い福井県を実現すれば、海外企業が福井県に生産拠点を移す可能性も考えられるのではないかと。

(出席者)

- ・まず、中国という国(相手)のしくみ、文化、歴史などを理解し、勉強する習慣をつけなければならない。さらに、言葉を話せることが大事である。
これらの基礎固めをしていかないと、ビジネスに立ち遅れてしまう。

(司会)

- ・今回は社会の要因分析ということですが、言葉、文化と絡めたビジネスの話も出てきました。

(出席者)

- ・環境や水は国内にニーズがあり、人口ボーナス無き中で、内需で何が成長できるかといえば、環境と水かもしれない。
- ・日本の交通インフラは、どうもうまくいってないような気がしている。産業の分野では国際競争力があるが、なぜ、交通インフラでは国際競争力がないのか疑問である。
- ・福井県が全力投球している北陸新幹線も完成させないといけないのであろう。日本の高度成長を側面で支援したのは東海道新幹線で、東京と関西の交流が可能になった。狭い国土で日本人が親密に交流できるのは、日本の強さ、技術革新の基である。福井と東海道新幹線が繋がれば、世界で初めて新幹線がループになる。東京の山手線のように右廻り、左廻りで人が交流できるようになり、福井県のためだけでなく、石川、富山のものづくり企業が浜松のヤマハ、スズキと打ち合わせをする。このようなことが高速で可能になる。

(産業労働部長)

- ・本県でも景気回復に向けた新しい経済戦略を考え、整理していく中で、①市場の問題、②どういった成長分野に産業をシフトしていくのか、③域内の経済の活性化がポイントとなる。
- ・本県はマテリアル産業に強みがあり、B to B市場としてのアジアの動きがどのように変わっていくのかについて、もう少し調査していきたいと思っている。

(出席者)

- ・県立大学にマーケティング学科を創設するとよい。学生がそれぞれのテーマで、経営者が日頃行っているようなマーケティング戦略会議を常に行う場があるといい。

(司会)

- ・それでは、参加の皆様、ご自由にコメントください。

(参加者)

- ・中国が市場として注目されており、留学生として嬉しく思う。日本は観光立国を宣言しているが、リーマンショック以来、北陸3県への海外旅行客が減少している。リーマンショックだけが原因でなく、PRが足りないと思う。
- ・日本の高齢化について、必ずしもマイナス部分だけではない。日本は医療技術が発達しており、高齢化や観光と結びつけて、例えば、海外の健康診断ツアー等、

様々な企画が展開できるのではないかと。

(司会)

- ・本日残された一番大きな観光の問題、いつ切り出そうかと思っていましたが、助かりました。ヘルスツーリズムについて、すぐ後に議論したいと思いますが、B to Bの問題が出ていますので、これについて、どなたかコメントをいただきたいと思います。また、何を売るのかについて、中国以外の東アジアの話もどなたかコメントいただけたらと思います。
- ・さらに、さきほど、新幹線のことについて応援いただきました。総合政策部長いかがでしょうか。

(総合政策部長)

- ・北陸新幹線はつながることにより効果が上がる。県としてきちっと取組んでいく必要がある。東アジアに向かって福井の成長戦略を進めるうえでも、土台となる高速道路、新幹線、港、小松空港の活用など、皆様の意見を聴きながら、ビジョンに盛込んでいきたい。
- ・福井県は13基の原子力発電所を立地しており、現在、アジアでは60基の原子力発電所が、建設、計画中である。日本の原子力技術は高く、福井が原子力研究、人材育成の拠点として、アジア、世界に貢献していけるのではないかと考えている。

(出席者)

- ・北東アジア地域（ロシア、中国、北朝鮮の国境辺り）に物流が集中しており、敦賀港の発展にとっても、大きなポイントとなる。これらを取込む方策を考える必要がある。

(司会)

- ・先ほどのB to Bや、物流、港湾の話を含めて、コメントをお願いします。

(出席者)

- ・中国とビジネスは、香港経由で行っている会社は、普通にビジネスを行っているが、中国企業と直接行っている企業は、債権回収で非常に苦労しているようである。やはり、B to Cは厳しい。
- ・海外からの引き合いが多くても、言葉の問題でレスポンスが遅ければ、やはりビジネスは成立しない。そういう意味では、人材育成も重要だ。

(出席者)

- ・中国から日本に来る場合、入管、税関のハードルが高い。先日、ヘルスツーリズム5名を受け入れ、非常に喜ばれた。中国人が自由に来ることができるよう、門戸を広げる必要があるが、その見通しはどうか。

(出席者)

- ・外務省の方で、事前に申請をして登録しなければならなかったが、つい最近、ある程度の所属の方は、自由に来ることができるようになったと把握している。

(司会)

- ・福井県の観光政策について、観光営業部長、お願いします。

(観光営業部長)

- ・中国人のビザの発給は、7月1日から25万元（日本円で350万円程）以上の所得があれば、自由にできるようになった。
- ・陽子線がん治療と人間ドッグをセットにしたヘルスツーリズムについて、旅行会社とタイアップして売り込みを行っている。
- ・福井県固有の観光資源を利活用しながら、広域的に新しい切り口で売り込みを行っているが、皆様のお知恵をいただきたい。
- ・また当部は、海外事務所も担当しており、香港と上海に事務所を持っている。中国の内陸戦略を考慮し、事務所を構えたい考えもあるので、また、色々ご指導いただきたい。

(司会)

- ・北東アジアに関しては、大きな一つの予定がありますので、日を改めてエクストラミーティングの場で深く掘り下げていきたいと思います。

(出席者)

- ・中国は共産党一党支配であるが、この政治体制が経済活動に影響を及ぼすことはないか。

(出席者)

- ・中国の政治体制は共産党一党支配、経済は資本主義経済で矛盾している、長続きするのかということであるが、これからもこのような形で続いていくものと思われる。

(司会)

- ・せっかく若い方にお越しいただいたので、何かコメントをいただければと思います。先ほど学生の方にお話いただいたので経済関係の方、どなたかコメントいただけますか。

(参加者)

- ・今日は日本の企業が外へ出ていく話を中心であったが、逆に、東アジアから福井に来る、投資をするというような論点も大事なのではと思う。

(出席者)

- ・他の県と同じことをやっているのはダメ。福井県の産業の特性や地理的な優位性を活かした特色のあるビジョンにしていきたいと思う。

以 上